

第50回技能五輪全国大会「木型職種」採点基準概要

1. 採点項目

採点項目
寸法精度
各個できばえ
総合できばえ
作業時間
その他の採点

2. 採点方法及び失格要件

1) 採点方式

採点は減点法とし、採点項目ごとの減点の累計を各人の持ち点100点より差し引いて得点を決定する。なお、最終得点がマイナス点となる場合は0点として処理する。

2) 失格要件

次に掲げる事項に該当する者は、採点の対象とはせず得点欄に失格と記す。

イ. 未完成

競技課題に示す木型の形状を備えていないもの。
鑄造用模型として適さないもの。

ロ. 寸法不良

競技課題に示された寸法（R面寸法10mm以下を除く）に対し、 $\pm 2\text{mm}$ をこえる誤差が1箇所以上認められるもの。

3. 項目別採点法及び採点基準

1) 寸法精度

イ. 測定箇所

測定箇所はあらかじめ決めておく。

ロ. 採点

採点は誤差の範囲表による。

2) できばえ

イ. 各個できばえ

各個所ごとのできばえを下記の観点により「秀・優・良・可・不可」に判定し、減点する。

各個できばえの
観点

- a. 基準線のけがいていないもの
- b. 幅木の形状と寸法
- c. 外型のきれいさ
- d. 中型のきれいさ
- e. ダボの嵌合と位置
- f. 樹脂面のきれいさ

ロ. 総合できばえ

総合できばえ（方案・塗装・はがれ防止策・全体の仕上がり等）は下記の基準により「秀・優・良・可・不可」に判定し、減点する。

方案

秀	優秀な方案で全く申し分がないもの
優	優良な方案でわずかに欠点が認められるもの
良	多少欠点があっても決定的なものではなく、手直しを必要としない程度のもの
可	欠点が認められ手直しを行えば使用できるもの
不可	方案が不良で知識が基本的に不足するもの

できばえ

秀	優秀なできばえで全く申し分がないもの
優	優良なできばえでわずかに欠点が認められるもの
良	多少欠点があっても決定的なものではなく、手直しを必要としない程度のもの
可	欠点が認められ手直しを行えば使用できるもの
不可	できばえが不良で技能が基本的に不足するもの

3) 作業時間

作業時間の採点は各選手の下記の所要時間にもとづいて減点する。

所 要 時 間
1 0 時 間 3 0 分 以 内
〃 3 5 分 以 内
〃 4 0 分 以 内
〃 4 5 分 以 内
1 1 時 間 0 0 分 以 内

4) その他の採点

下記について該当する場合は減点を行う。

ただしその判定は競技委員の合議による。

- (1) 作業態度のわるいもの

3. 疑義を生じたとき

その他、採点、判定等に疑義を生じた場合は競技委員の合議によって決定する。